

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	はやし まちこ 林 真知子	所属・職名	健康福祉学部 健康栄養学科・教授	
専門領域	微生物学・食品加工学	学位称号	農学修士. 1977(昭52)	
最終学歴	佐賀大学大学院農学研究科農芸化学専攻（修士課程）修了			
資格・免許等	栄養士免許 佐賀県2391号			
教育上の能力に関する事項				
担当科目	微生物学、食品加工学、調理実習Ⅰ・Ⅱ、健康福祉概論、健康福祉総合演習A、食品衛生学特論（院）			
教育方法の実践例 教材の開発 教育改善活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習では、毎回書込みできるプリントを自作して学生に配布し、その場で書きこませることで学習効果を高めた。また、毎回小テストを行い、知識の定着を図った。グループ分けを工夫することで、学生同士の交流を深めて協調性を養うようにした。担当を決めさせることで、確実に各人が実習を経験することを目指し、実践的な教育を行った。毎回実習で調理したものを写真で記録させ、他の資料とともにファイルにまとめさせることで、以後の講義や実習で役立てることができるよう工夫した。 ・食品加工学および微生物学の講義では、毎回前回の講義内容に関する練習問題を授業前に学生に解かせることで、復習させ、知識の定着を図った。また、問題及び解答を学内のLAN上のフォルダ上に公開し、いつでも学生自身で学習できるようにした。また、国家試験問題の解説を含めて講義することで、学生の学習意欲を向上させた。このことは、学生からも復習できたと好評であった。 ・健康福祉概論は、健康福祉学部の学部基幹科目として、健康栄養学科及び社会福祉学科並びにリハビリテーション学科の必修科目であり、オムニバス形式で開講している。そのうち食と健康に関する部分を講義する。食を専門に学ばない学科の学生も対象としているため、パワーポイントを用いてわかりやすい講義を心がけた。また、毎回食にかかわる課題を出し、自分自身の食生活や食料問題に関心を持たせるよう工夫した。 			
職務上の実績に関する事項				
研究業績等に関する事項				
《平成18年度～平成22年度》				
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月	
Nブックス 新版微生物学	共著	建帛社	2010（平成22年）2月	
きゅうりの塩もみ後の塩分残存について	共著	西九州大学健康福祉学部 紀要 41	2011（平成23年）3月	
きゅうりの塩もみ後の塩分残存について	共著	日本家政学会九州支部 2010年度大会	2010（平成22年）9月	
研究助成等	平成16(2004)～平成18(2006)年度 アグリテクノ連携開発事業委託契約（佐賀県上場営農センター）			
学会及び社会における活動等				

日本農芸化学会(西日本支部評議員 2007～)、日本食品衛生学会、日本栄養・食糧学会、日本食品微生物学会、日本家政学会、日本暖地畜産学会

佐賀県環境審議会委員 2003(平成 15)年4 月～

佐賀県農政審議会委員 2005(平成 17)年2 月～2009 (平成 19 年) 12 月

第 59 回 日本学校農業クラブ全国大会 佐賀大会 プロジェクト発表会 審査員 2008 (平成 20 年) 9 月

日本学校農業クラブ佐賀県大会 プロジェクト発表会 審査員 2008 (平成 20 年) ～2010 (平成 22 年) 6 月